

2025 年度第 3 回幹事会/第 2 回評議委員会議事録

日時： 2025 年 9 月 9 日（火）13 時 00 分～15 時 00 分

場所： 神戸大学理学部 Z 1 0 3 教室（ハイブリット開催）

現地出席者：（評議委員）石井浩二郎、太田邦史、高橋文、橋本理尋（会長）角谷徹仁

（幹事）颯田葉子、野々村賢一、菱田卓、澤村京一、榎屋啓志、沖昌也、Jeffrey Fawcett、佐瀬英俊、杉本道彦、一柳健司、藤泰子、安田武嗣、遠藤俊徳、仁木宏典、相澤康則、鈴木崇之、二階堂雅人、菅澤薫（第 97 回大会委員長）、岩崎博史（第 98 回大会委員長）飯田（事務局）

Zoom 参加：（評議委員）栗崎健、長田直樹、片山勉、金澤章、木村暁、黒岩麻里、五條堀淳、澁田未央、高野敏行、高橋達郎、茶谷悠平、鳥羽太陽、中戸川仁、野澤昌文、深川竜郎（幹事）新屋みのり、佐々木真理子、村山泰斗、古郡麻子、宮城島進也、大学保一、鶴木元香、真木寿治、入江直樹、加納純子（順不同、敬称略）

1.角谷会長から挨拶があった。

2.報告事項

2.1 角谷会長から第 96 回大会以降の物故会員として、（石和貞男名誉会員 お茶の水女子大学名誉教授、2025.1.20 享年 88 歳）の報告があった。

2.2 広報担当、ホームページ編集幹事報告

宮城島幹事より物故会員の追悼文について説明があった。

2.3 国内庶務幹事報告

颯田幹事から日本遺伝学会から推薦した学術賞・研究助成と、その採択結果について報告があった。

2.4 渉外庶務幹事報告

新屋幹事から自然史学会連合についての報告があった。

次回の遺伝学談話会は遺伝学研究所開催と報告があった。

菱田幹事から生物科学学会連合における高校生物用語集について説明があり、用語執筆の対応を遺伝学教育用語検討委員会に依頼し、10 名に執筆いただく旨、報告があった。

2.5 会計幹事報告

北野幹事に代わり角谷会長から 2025 年度の会員数について報告があった。

2.6 編集幹事報告

澤村幹事から編集の新体制について紹介後、GGS の第 100 巻記念記事の準備について報告があった。

発行、投稿、IF の集計が GGS の号廃止に伴い、年度集計を年で集計に変更した旨の説明があった。

GGS prize 進捗状況および 2026 年度科研費申請の準備状況の説明があった。

2.7 企画・集会幹事報告

沖幹事から BP 賞投票の方法についての説明、投票の呼びかけがあった。

Jeff 幹事から 5 月に開催した ISEGB に 2 名の学生を日本より派遣し、遺伝学会神戸大会に 2 名の台湾の学生を招聘する予定であると報告があった。

菅澤大会員長から、第 97 回大会の準備状況、参加者数等について報告があった。また、公開市民講座の参加について呼びかけがあった。

2.8 将来計画幹事報告 * 別紙 1_参照

杉本幹事から 2024 年度の大会で実施したアンケートの結果、および今大会で実施するアンケートの内容について別紙 1 を用いて説明された。

今大会においてダイバーシティ・将来計画合同企画フォーラムを開催すると報告があった。

8 月に開催された 2025 年度女子中高生夏の学校のポスター展示「研究者・技術者と話そう」に村山委員が参加したと報告があった。

2.9 ダイバーシティ推進担当幹事報告

藤幹事から 2025 年 4 月より男女共同参画推進特別委員会は、名称をダイバーシティ推進委員会と変更し、更に、幹事名を男女共同参画推進担当幹事からダイバーシティ推進担当幹事に変更したと報告された。今年度委員の紹介後、活動は zoom を用いた委員会を 2 回開催していると報告があった。

第 96 回大会登録時のアンケート調査の結果を学会 HP に掲載したと報告があった。また、第 97 回大会登録時のアンケート調査の状況報告があった。

女子中高生の夏の学校に藤委員、若手の会の庄司日和さん、小田頌子さんが参加したと報告後、景品の本の提供依頼があった。

今大会で開催のダイバーシティ・将来計画合同企画フォーラムについて説明があった。

昨年度に引き続き、男女共同参画学協会連絡会の運営委員会に参加、Sluck を使った委員会運営について報告があった。

2.10 遺伝学普及・教育担当報告

鵜木幹事から第 97 回大会 YBP 賞の投票システムについて説明があった。今年度の春の分科会は、若手に加え、シニアの方にも発表を依頼する方向で進めていると報告があった。

角谷会長から、2025 年度日本遺伝学会賞選考について、木原賞は斎藤成也会員、奨励賞は北尾晃一会員、大畑樹也会員の 2 名に決定した経緯と報告があった。

2.11 シニア活性化幹事

真木幹事から神戸大会におけるシニアランチョンワークショップの開催説明、神戸大会でのシニア会員向けナイトゼミナールの開催について経緯が説明された。

GGs Brief Report への投稿と審査状況について報告があった。

2.12 国際連携幹事

二階堂幹事から今年度委員の紹介後、GSA と共催する Asia-Pacific Genetics Seminar Series の開催報告があった。また、IGF 再加入後、IGF 会長及び各国の先生方と交流が継続していると報告があった。

2.13 第 98 回大会報告

岩崎大会委員長から、第 98 回大会（東京 2026 年 9 月 9 日～12 日）の準備状況について報告があった。

2.14 その他

岩崎会員より国際シンポジウム「The 2nd AGCC2025: Genetics in Asia: Heredity, Diversity, Discovery, and Beyond」開催に向けて準備状況が報告された。

日時：2025 年 11 月 14 日（金）（受付開始午後 1 時）～ 11 月 15 日（土）

場所：沼津市立図書館 4 階 ホール

3.協議事項

- 沖幹事から第 99 回大会は京都大学的那須田周平会員に大会委員長をお引受けいただいたと報告があり承認された。また、第 100 回大会は国立遺伝学研究所にて開催予定である旨説明があり、承認された。
- 北野幹事に代わり角谷会長から別紙 2 を用いて 2024 年度決算、2026 年度予算案について説明があり、承認された。
- 遠藤幹事より遺伝学会 HP のメニュー構成の修正について、別紙 3 を用いて説明があり承認された。

4.

論文の投稿数について、掲載料を値上げした効果について質問があり、投稿された論文の分野分布への影響について回答があった。また、査読の依頼について状況が説明され、最後に学会員への投稿の呼びかけがあった。

将来計画幹事 報告事項

1) 昨年度の大会で実施したアンケートの結果について

日本遺伝学会第96回大会将来計画アンケート結果【質問内容と回答】()内は同様意見の数

Q1:もし今後遺伝学会年会で技術講習会を企画するならどういった内容を期待しますか?

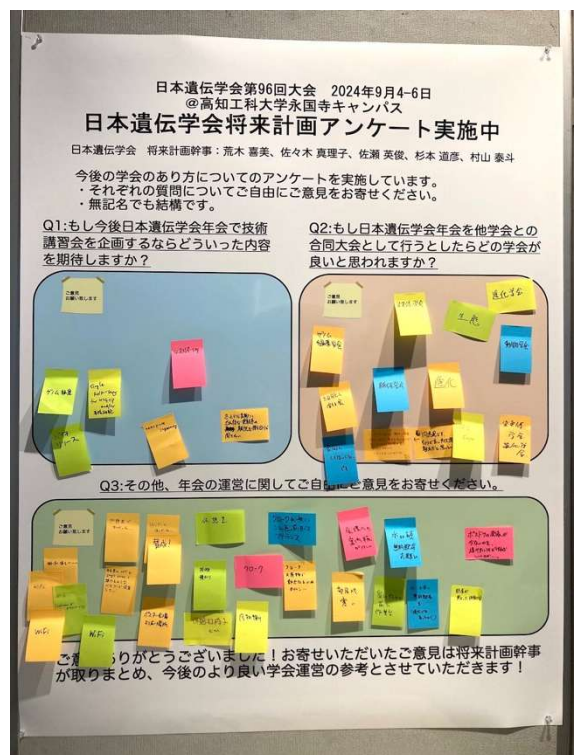
- Single RNA-seq for バクテリア and/or 真核細胞 (1)
- ゲノム編集 (1)
- バイオリソース (1)
- Nanopore sequencing (1)
- 各モデル生物に独特な実験系の解説を持ち回りで聞きたい (1)

Q2:もし日本遺伝学会年会を他学会との合同大会として行うとしたらどの学会が良いと思われますか?

- 染色体学会 (3)
- 進化学会 (3)
- NGS expo (1)
- ゲノム編集学会 (1)
- 生態学会 (1)
- 動物学会 (1)
- 細胞を創る研究会 (1)
- コンパクトなのが魅力の学会 合同になると重なるセッションが多くなったり期間が長くなったりするのでしなくても良い (賛成という意見2枚、合計3)

Q3:その他、年会の運営に関してご自由にご意見をお寄せください。

- ポスドクの発表が少ないのを増やすにはどうすればいいのか……。 (1)
- Wifi 欲しい (7)
- クローク欲しい (5、うち1つは、ないことを前もって知らせてほしかったという内容)
- 休憩室欲しい (3)
- 水やお茶の無料配布 (2、進化学会ではあったそうです)
- 部屋が寒い (2)
- 受付の前に作業台 (1)
- ポスター会場 より広い場所 (1)
- 要旨集の pdf を google drive で開けるようなパスワード設定して……。 (1)
- 会場への案内板が欲しい (1)



2) 今大会で実施するアンケートの内容について

質問内容

Q1: 希望する大会開催時期についてお教えてください

(以前は、科研費の締め切りと重なっていたため開催時期を早めた方が良いのではないかという意見があったが、科研費の締め切り自体が早まったことから改めて開催時期の希望を調査する)

Q2: 大会開催地に関して(現在は大会主催者の所属機関所在地で開催)
(現状で良い、アクセスしやすい数カ所の持ち回りを希望する、など)

Q3: 一般口頭発表のグループ分けについて
(現在は主に研究分野ごとに分類しているが、生物種ごとにしてほしい、解析技術に応じた分類がよい、などの希望があるかどうか)

Q4: 若手支援についてご意見をお寄せください

(遺伝学会の若手支援は充実していると思うか？まだまだ足りないと思うか？具体的なアイディアも含めた意見)

Q5: その他、学会、大会の運営に関してご自由にご意見をお寄せください

3) 今大会においてダイバーシティ・将来計画合同企画フォーラムを開催(詳細はダイバーシティ推進委員会より)

4) 2025 年度 女子中高生夏の学校のポスター展示「研究者・技術者と話そう」のコーナーにて展示(詳細はダイバーシティ推進委員会より)

日本遺伝学会第97回大会 2025年9月10-12日
@神戸大学 六甲台第2キャンパス

日本遺伝学会将来計画幹事アンケート実施中

日本遺伝学会 将来計画幹事：荒木 喜美、佐々木 真理子、佐瀬 英俊、杉本 道彦、村山 泰斗

今後の日本遺伝学会大会をより良いものにしていくため、昨年に引き続き大会会場にて皆様からのご意見を募集したいと思います。今回は、下記の通り「大会開催時期について」、「大会開催地について」、「議題のグループ分けについて」、「若手支援について」、ご意見・ご要望をお伺いしたいと思っておりますので、奇麗のないご意見をぜひお寄せください。

Q1:希望する大会開催時期について教えてください
大会開催時期について、希望する期間に丸シール(身分ごとに異なる色)を貼ってください。

8月第3週	8月第4週	9月第1週	9月第2週	9月第3週	9月第4週	10月第1週	10月第2週	その他

その他の時期 (付箋に書いて貼ってください。)

Q2:大会開催地に関して
現在は大会主催者の所属機関所在地で開催していますが、ご希望・ご意見をお願いします(現状で良い、アクセスしやすい数カ所の持ち回り、など)

Q3:一般口頭発表のグループ分けについて
現在は主に研究分野ごとに分類していますが、生物種ごとにしてほしい、解析技術に応じた分類を希望、など

Q4:若手支援についてご意見をお寄せください
遺伝学会の若手支援は充実している、まだまだ足りない、など、具体的なアイディアもありましたらぜひお願いします。

Q5:その他、学会、大会の運営に関してご自由にご意見をお寄せください

ご意見ありがとうございました！
お寄せいただいたご意見は将来計画幹事が取りまとめ、今後のより良い学会運営の参考とさせていただきます！

2024年度会計（2024年4月～2025年3月）

収入

（単位円）

摘要	予算	決算
1. 学会費	4,400,000	4,148,102
2. 賛助会費	140,000	20,000
3. 科学研究費補助金	3,900,000	5,100,000
国際情報発信強化B	3,900,000	3,900,000
公開市民講座	0	1,200,000
4. 事業収入	3,990,100	2,388,199
掲載料	3,990,000	2,381,000
利息	100	7,199
5. 雑収入(役員会懇親会徴収含む)	130,000	218,544
6. 96回大会補助金返金	0	960,759
小計	12,560,100	12,835,604
7. 繰り越し金		20,842,352
総計		33,677,956

支出

摘要	予算	決算
1. 事業費	5,380,000	5,235,099
雑誌製作費	2,900,000	1,494,577
大会補助費	1,000,000	1,000,000
公開市民講座	0	1,200,000
学術集会事業費	300,000	478,074
大会学生旅費補助	800,000	751,900
協力委員会分担金	80,000	80,495
若手の会補助費	300,000	230,053
2. 評議委員会／幹事会費／委員会費	440,000	357,520
3. 事務費	3,840,000	3,980,598
雑誌発送費	40,000	107,224
編集経費	2,900,000	2,645,575
事務局経費	900,000	1,227,799
4. 学会賞関係費	400,000	405,409
5. 謝金	1,300,000	1,248,645
6. 特別事業費	1,200,100	344,281
国際シンポジウム	1,000,000	0
その他（学生交換事業等）	200,100	344,281
小計	12,560,100	11,571,552
次期繰越金		22,106,404
総計		33,677,956

2026年度予算案

(単位円)

A収入	摘要	予算
	1. 学会費	4,210,000
	2. 賛助会費	140,000
	3. 科学研究費補助金	3,900,000
	国際情報発信強化B	3,900,000
	4. 事業収入	2,498,000
	掲載料	2,490,000
	利息	8,000
	5. 雑収入	130,000
	小計	10,878,000

B支出	摘要	予算
	1. 事業費	3,780,000
	雑誌製作費	1,500,000
	大会補助費	1,000,000
	学術集会事業費	300,000
	大会学生旅費補助	600,000
	協力委員会分担金	80,000
	若手の会補助費	300,000
	2. 評議委員会／幹事会費／委員会費	350,000
	3. 事務費	3,840,000
	雑誌発送費	80,000
	編集経費	2,800,000
	事務局経費	960,000
	4. 学会賞関係費	400,000
	5. 謝金	1,300,000
	6. 特別事業費	1,208,000
	国際シンポジウム	1,000,000
	その他(学生交換事業等)	208,000
	小計	10,878,000

遺伝学会 HP のメニュー構成の修正について

広報・ホームページ担当 遠藤

背景

令和7年度第1回幹事会（4月2日）の際に、遺伝学会ウェブサイトのメニュー「男女共同参画」を「ダイバーシティ推進」に修正すべきという指摘があった(図1)。確認したところ、メニュー構成に不備があり、コンテンツが適切なメニュー項目下に配置されていないケースが見つかった。

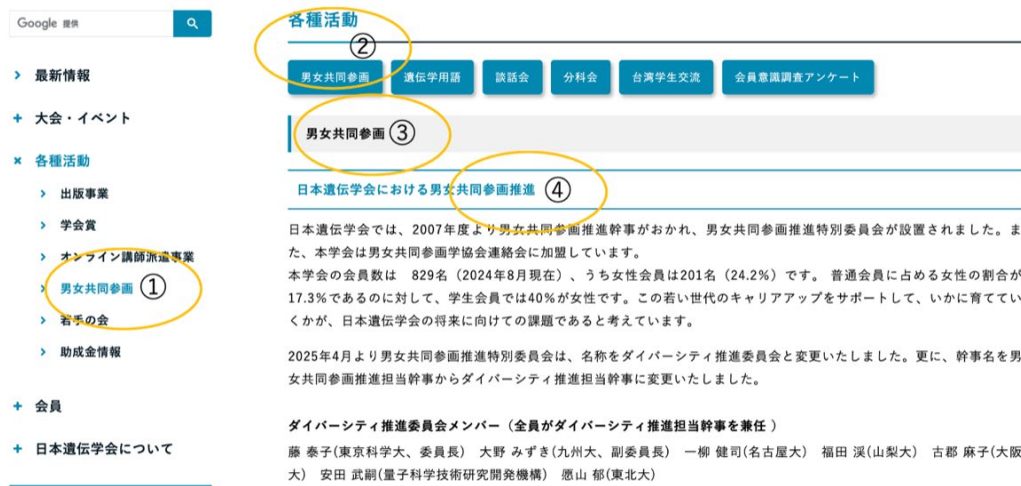


図1 ホームページの表記不具合

不備解消の提案

Web サイトメニューを見直した結果、昨年度のメニュー構成変更時に、HP 管理委託先への意思伝達が不完全だったことが確認された。再検討の結果、次頁の構成を提案する。

メニュー番号

2024年9月～

柱	項目	タブ	説明
100			■最新情報 ←[HOME][お知らせ]を統合
200			■大会・イベント
	210		大会案内
	220		年会一覧
	230		過去の大会
	240		分科会 {ブログ記事一覧}
	250		談話会 {ブログ記事一覧}
	260		若手の会 {ブログ記事一覧}
300			■各種活動 {[日本遺伝学会について]から独立}
	310		出版事業 ←[出版物]{ランク下げ}
			(GGS, GSJcomm, 遺伝単, 遺伝学の百科事典)
	311		GGS
	312		遺伝単
	313		遺伝学の百科事典
	314		GSJコミュニケーションズ
	315		遺伝学のパラダイムシフトを目指して (BP賞)
	320		学会賞 ←[授賞]
	321		木原賞・奨励賞
	322		GGS prize
	323		Best Papers賞
	330		オンライン講師派遣事業 {ランク下げ}
	340		男女共同参画
	341		ダイバーシティ推進
	342		遺伝学用語
	343		談話会
	344		分科会
	345		台湾学生交流
	346		会員意識調査アンケート
	350		若手の会
	360		助成金情報
400			■会員
	410		会員専用ページ ←[会員ページ]
	420		入会
	440		年会費
	430		退会
500			■日本遺伝学会について
	510		会長挨拶
	520		学会組織
	530		会則
	540		沿革
	550		寄付のお願い à スポンサー募集
	560		関連リンク
600			GGS
700			スポンサー

旧メニュー番号		
柱	項目	タブ
100		
200		
	210	
	220	
	220	
	230	
	240	
	250	
	260	
300		
	310	
	311	
	312	
	313	
	314	
	315	
	320	
	321	
	322	
	323	
	330	
	342	
	341	
	345	
	346	
400		
	410	
	420	
	430	
	440	
500		
	510	
	520	
	530	
	540	
	550	
	360	
	560	
600		
700		

修正

格下げ

格下げ

修正

修正

格上げ

格上げ

格上げ

格上げ

移動

移動

移動

新メニュー番号

2025年9月～

柱	項目	タブ	説明
100			■最新情報 ←[HOME][お知らせ]を統合
200			■大会・イベント
	210		大会案内
	220		過去の大会
	221		最近の大会(2022年以降)
	222		大会一覧
	240		分科会
	250		談話会
	260		若手の会
300			■各種活動
	310		出版事業
	311		GGS
	312		遺伝単
	313		遺伝学の百科事典
	314		GSJコミュニケーションズ
	315		遺伝学のパラダイムシフトを目指して (BP賞)
	320		学会賞
	321		木原賞・奨励賞
	322		GGS prize
	323		Best Papers賞
	330		オンライン講師派遣事業
	340		遺伝学用語
	350		ダイバーシティ推進
	360		台湾学生交流
	370		会員意識調査アンケート
400			■会員
	410		会員専用ページ ←[会員ページ]
	420		入会
	430		退会
	440		年会費
500			■日本遺伝学会について
	510		会長挨拶
	520		学会組織
	530		会則
	540		沿革
	550		寄付のお願い à スポンサー募集
	555		助成金情報
	560		関連リンク
600			GGS
700			スポンサー

■はメニューカテゴリ

2025 年度 GGS 編集委員・編集顧問合同会議 議事要旨

日時： 2025 年 9 月 9 日（火）15 時 00 分～16 時 30 分

場所： 神戸大学理学部 Z 1 0 3 教室（ハイブリット開催）

現地出席者：澤村京一、榊屋啓志、角谷徹仁、野々村賢一、西原秀典、石井浩二郎、中川拓郎、岩崎博史、高橋文、二階堂雅人、颯田葉子、仁木宏典、鈴木崇之、Jeffrey Fawcett、一柳健司、田中秀逸、荒木弘之、平野博之、伊藤雅信、松岡聡、池村淑道、菅澤薫（第 97 回大会委員長）飯田愛（事務局）

Zoom 参加：田嶋敦、鶴木元香、真木寿治、黒岩麻里、玉木一郎、坂本貴洋、権藤洋一、楠見淳子、要匡、新井田厚司、那須田周平、（順不同、敬称略）

1. 報告事項

（ア）新体制について報告した。変更点は下記の通り。

- ① 編集長と副編集長の交替：新編集長（澤村）・新副編集長（榊屋）
- ② 新規編集委員：坂本貴洋（遺伝研）、Phillip Batterham（メルボルン大学）、Claire Bellis（シンガポールゲノム研究所）
- ③ ご退任：西田育巧（名大）、印南秀樹（総研大）

（イ）発行、投稿、IF 報告について、以下の通り報告した。

① 論文発行状況

Year	Volume	Total	Review	Full	Short/Brie	Other	
2021	96	32	4	19	8	1	
2022	97	30	8	16	4	2	
2023	98	33	8	15	8	2	
2024	99	14	1	7	6	0	
2025	100	17	0	14	3	0	2025.8.20

② 論文投稿状況

Year	Accept	Reject etc	Under Rev	Total	%Accept	
2021	31	109	0	140	22.1	
2022	28	156	0	184	15.2	
2023	25	322	0	347	7.2	
2024	21	204	1	226	9.3	
2025	7	84	8	99	7.1	2025.8.20

③ Impact Factor

Year	1-year	5-years
2024	1.2	1.3
2023	1	1.4
2022	1.1	1.5
2021	1.258	1.34
2020	1.517	1.434

(ウ) GGS の第 100 巻記念記事について報告した。

(エ) EM の新機能追加を紹介した。この中で、invited paper の場合の APC をどのように確認するかという質問があった。

2. 審議事項

(ア) 2025 GGS Prize 受賞論文選考について、中川拓郎 GGS Prize Editor の原案が承認された。

2025 GGS Prize は以下の 2 報。

- ① [N-terminal acetyltransferase NatB regulates Rad51-dependent repair of double-strand breaks in *Saccharomyces cerevisiae*. Natsuki Sugaya, Shion Tanaka, Kenji Keyamura, Shunsuke Noda, Genki Akanuma, Takashi Hishida. \(2023 Volume 98 Issue 2 Pages 61-72\)](#)
- ② [Pigmentation of soybean seed coats via a mutation that abolishes production of multiple-phased siRNAs of chalcone synthase genes. Mashiho Yuhazu, Shun Mikuriya, Ayumi Mori, Maria Stefanie Dwiyantri, Mineo Senda, Akira Kanazawa. \(2024 Volume 99 Article ID: 23-00260\)](#)

2025 GGS Reviews Prize は以下の 1 報。

- ① [SOG1: a master regulator of the DNA damage response in plants. Kaoru Okamoto Yoshiyama. \(2015 Volume 90 Issue 4 Pages 209-216\)](#)

(イ) J-Stage data について（昨年度の会議でペンディングになっている件）はポジティブな意見は出されなかった。

(ウ) ITA 変更について、下記が承認された。

① (変更前) **Abstract**

The abstract should state the scope of the work and the principal findings in no more than 300 words. References should not be included.

(変更後) **Abstract**

The abstract should state the scope of the work and the principal findings in no more than 300 words. References should not be included. Do not separate the abstract into items (e.g., background/methods/results/conclusions).

② (変更前) **Self-archiving (Green Open Access) policy**

Self-archiving, also known as Green Open Access, enables authors to deposit a copy of their manuscript in an online repository. *GGS* encourages authors of original research manuscripts to upload their article to an institutional or public repository immediately after publication in *GGS*, in line with the terms of the relevant

license.

(変更後) **Self-archiving (Gold Open Access) policy**

*GG**S* encourages authors of original research manuscripts to upload their article to an institutional or public repository immediately after publication in *GG**S*, in line with the terms of the relevant license.

- (エ) 9月17日に申請予定の「令和8(2026)年度 研究成果公開促進費(国際情報発信強化)」について、今後の構想も含めて議論した。今後の特集号については、方針が決まり次第まずはエディターを指名するのがよいのではないかという意見が出された。
- (オ) マイクロサテライト等マーカー開発論文の扱いについて議論した。特に明言はしないものの、本格的な論文でない場合には Methods, Technology, Resources のカテゴリでの出版を勧める旨、了承された。
- (カ) AIを用いた投稿論文について、どの程度まで認めるべきかという問題提起がなされた。この件に関しては継続審議とした。

日本遺伝学会第97回大会総会議事録

日時：2025年9月12日（金）13時45分～14時20分

場所：神戸大学百年記念館（神大会館）六甲ホール

出席者：角谷徹仁会長、幹事他130名

1. 議長選出

議長に安田武嗣会員（量子生命科学研究所）、鶴木元香会員（東京大学）が選出された。

2. 菅澤薫大会委員長の挨拶があった。

3. 角谷徹仁日本遺伝学会会長により挨拶並びに報告がされた。（2025年度第3回幹事会/第2回評議委員会議事録参照）その中でGGSPize2025, GGSReviewPrizeの授賞者の発表もあった。

（2025年度GGS編集委員・編集顧問合同会議議事要旨参照）

4. 議事

① 2024年度会計決算について

北野潤会計幹事に代わり角谷徹仁会長から総会資料にもとづき説明がされた。

また、藤戸尚子会計監査から、事前に藤戸尚子会員、小出剛会員が伝票領収書等を確認し、5月12日にWEBにて会計監査を実施した結果、2024年度の会計は適正に行われている旨の報告があり、承認された。

② 2026年度予算案について

北野潤会計幹事に代わり角谷徹仁会長から総会資料にもとづき説明があり、原案の通り承認された。

③ 第99回大会について

沖幹事から、第99回大会の京都開催について報告があり、承認された。

5. 第97回大会Young Best Poster(YBP)賞受賞者

安部栄輝会員、尾原優太会員、川島莉紗会員、河野凌大会員、高島侑子会員

高槻春華会員、森田陸生会員、山崎公平会員がYBP 賞を受賞したと発表された。

第97回大会Best Papers(BP)賞受賞候補者

赤沼元気会員、石川峻遥会員、大原隆人会員、加藤雄大会員、高須美央会員、照井利輝会員、野寄拓海会員、原雄一郎会員、藤本明洋会員、堀籠智洋会員、松本翔太会員、森雪永会員、山城芹奈会員がBP賞受賞候補者として発表された。

6. 第98回大会委員長挨拶として、岩崎博史次期大会委員長より第98回大会（東京）は

2026年9月9日(水)-11日(金)を東京科学大学大岡山キャンパスにて開催予定と報告された。（9月12日（土）は公開市民講座を開催）

7. 国際シンポジウム「The 2nd AGCC2025: Genetics in Asia: Heredity, Diversity, Discovery, and Beyond」について、岩崎博史前会長より、開催の経緯が説明され、参加の呼びかけがあった。

2025年11月14日（金）（受付開始午後1時）～11月15日（土）

日本遺伝学会木原賞、奨励賞授与式記録

総会終了後、木原賞受賞者（斎藤成也会員）と奨励賞受賞者（北尾晃一会員、大畑樹也会員、）が表彰された。授与式終了後に木原賞、奨励賞受賞講演が行われた。